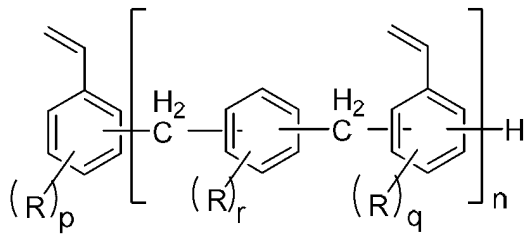
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和6年3月8日(2024.3.8)

【国際公開番号】WO2023/189424
【出願番号】特願2023-534115(P2023-534115)
【国際特許分類】
C08F 12/06(2006.01)
C08F 12/34(2006.01)
C07C 15/50(2006.01)
C07C 1/30(2006.01)
【FI】
C08F 12/06
C08F 12/34
C07C 15/50
C07C 1/30

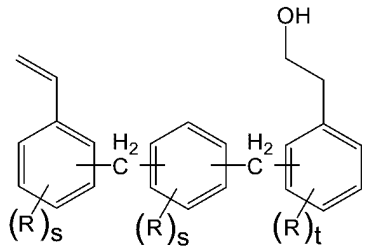
【手続補正書】
【提出日】令和5年6月5日(2023.6.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
下記式（１）で表される化合物であって、前記化合物総量中、式（１）中のｎが１である化合物がＧＰＣ面積百分率で５０％未満である化合物。
【化１】



(1)

（式（１）中、複数存在するＲはそれぞれ独立して、炭素数１～１０の炭化水素基またはハロゲン化アルキル基を表す。ｐ、ｒは０～４の整数、ｑは０～３の整数である。ｎは繰り返し数であって、ｎの平均値n_{ave}は$1 \leqq n_{ave} \leqq 20$を満たす。）
【請求項２】
下記式（２）～（４）で表される化合物のＨＰ－ＬＣのピーク面積の総和（α）を前記式（１）中のｎが１である化合物のＨＰ－ＬＣのピーク面積（β）で除した値（α／β）が０．１０以下である請求項１に記載の化合物。

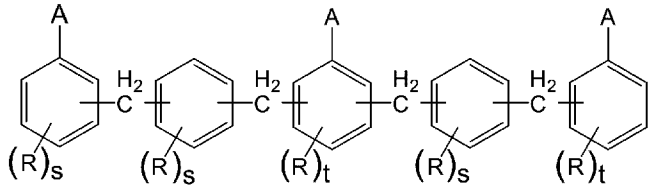
【化２】



(2)

（式（２）中、複数存在するＲはそれぞれ独立して、炭素数１～１０の炭化水素基またはハロゲン化アルキル基を表す。複数存在するｓはそれぞれ独立して０～４の整数である。）

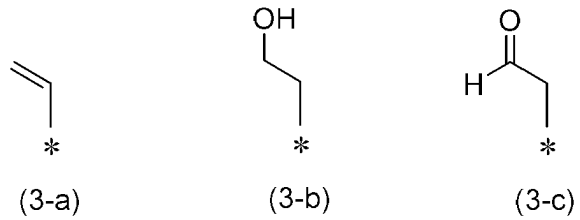
【化３】



(3)

（式（３）中、複数存在するＲはそれぞれ独立して、炭素数１～１０の炭化水素基またはハロゲン化アルキル基を表す。複数存在するＡはそれぞれ独立して、下記式（３－ａ）～（３－ｃ）のいずれか１種である。複数存在するｓはそれぞれ独立して０～４の整数、ｔは０～３の整数である。）

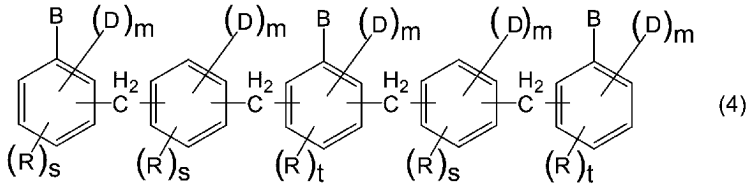
【化４】



(3-a) (3-b) (3-c)

（式（３－ａ）～（３－ｃ）中、＊は、式（３）の化合物の芳香環との結合位置を表す。）

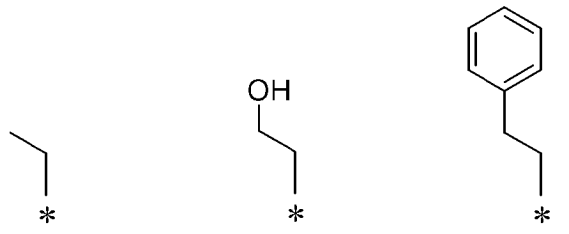
【化５】



(4)

（式（４）中、複数存在するＲはそれぞれ独立して、炭素数１～１０の炭化水素基またはハロゲン化アルキル基を表す。複数存在するＢはそれぞれ独立して、下記式（４－ｄ）または（４－ｅ）である。Ｄは下記式（４－ｆ）である。複数存在するｓはそれぞれ独立して０～４の整数、ｔは０～３の整数である。式（４）中の５個のｍのうち１つが１であり、そのほかの４つは０である。）

【化６】



(4-d) (4-e) (4-f)

（式（４－ｄ）～（４－ｆ）中、＊は、式（４）の化合物の芳香環との結合位置を表す。）

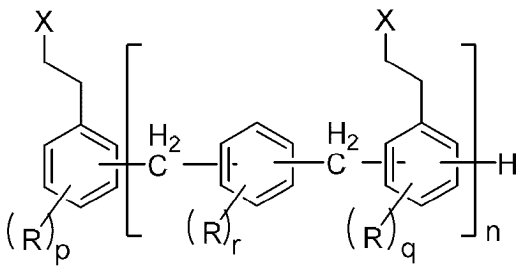
【請求項３】

前記式（１）中、ｐ＝０、ｑ＝０、ｒ＝０である請求項１または２に記載の化合物。

【請求項４】

前記式（１）で表される化合物は下記式（５）で表される化合物から誘導される、請求項１または２に記載の化合物。

【化７】



(5)

（式（５）中、複数存在するＲはそれぞれ独立して存在し、炭素数１～１０の炭化水素基またはハロゲン化アルキル基を表す。ｐ、ｒは０～４の整数、ｑは０～３の整数であり、ｎは繰り返し数であって、ｎの平均値n_{ave}は$1 \leqq n_{ave} \leqq 20$を満たす。Ｘはハロゲン原子を表す。）

【請求項５】

請求項１または２に記載の化合物と重合禁止剤とを含有する混合物。

【請求項６】

請求項１または２に記載の化合物を含有する硬化性樹脂組成物。

【請求項７】

ポリフェニレンエーテル化合物、ポリブタジエンおよびこの変性物、ポリスチレンおよびこの変性物、のうちいずれか１つ以上を含有する請求項６に記載の硬化性樹脂組成物。

【請求項８】

ラジカル重合開始剤を含有する請求項６に記載の硬化性樹脂組成物。

【請求項９】

請求項１または２に記載の化合物を硬化して得られる硬化物。